

諫早文化会館芸術鑑賞会主催事業

Toshio Mori &

森寿男 & ブルーコーツオーケストラ

Blue Coats Orchestra

～結成70周年 日本最高峰JAZZビッグバンドへの誘い～



PROGRAM

Moon Light Serenade

ムーンライト・セレナーデ

In the Mood

イン・ザ・ムード

Stardust

スターダスト

Sing Sing Sing

シング・シング・シング

Take the A Train

A列車で行こう

その他

2017.9/12(火) 開場 18:30 開演 19:00

諫早文化会館大ホール 諫早市宇都町9-2 TEL 25-1500 司会 まきいわ・まさお

【入場料】 S指定席 / ¥3,800
A指定席 / ¥3,000
自由席 / 大人…¥2,000
小人…¥500
(小学生～高校生)

【チケット】 販売開始 6月28日(水)から

- 諫早文化会館 (0957-25-1500)
- 原田楽器店 (0957-23-3337)
- 中村紙店 (0957-22-0926)
- 喫茶野絵瑠 (0957-24-3899)
- シーハットおおむら (0957-20-7207)
- 絃洋会楽器店 (095-821-2326)
- ローソンチケット (Lコード84222)

※諫早市からの補助金により特別の低料金で実施します。

〈主催〉 諫早文化会館芸術鑑賞会 TEL.0957-25-3910

〈後援〉 諫早市 諫早市教育委員会 諫早市芸術文化連盟 長崎新聞社 西日本新聞社 諫早ケーブルテレビ エフエムいさはや ナイスいさはや

Toshio Mori &

森寿男 & ブルーコーツオーケストラ

Blue Coats Orchestra

～20世紀が生んだ最大の芸術遺産・ジャズ その発祥と発展を楽しむ～



Profile 森寿男&ブルーコーツ・オーケストラ

■楽団の沿革

1936年、初代リーダー長尾正士、後に2代目リーダーとなった小原重徳等によって、その前身が結成されたが、第二次世界大戦で一時中断。戦後まもなくの1946年、「ブルーコーツ・オーケストラ」として再スタートし、現在に至るまで70年以上の歴史と伝統を持つ名門バンドである。ベニー・グッドマン、サム・テイラーなど海外アーティストとの共演も多い。その伝統の中で、黛敏郎・笈田敏夫・ナンシー・梅木・秋吉敏子等、数多くの著名音楽家を輩出した。



1970年、東京藝術大学出身の森寿男が3代目リーダーに就任。その伝統を継承すると共に、カウント・ベイシー、デューク・エリントンの精神とフィーリングを追求し続けている。

1981年10月、文化庁芸術祭参加公演「ブルーコーツ・リサイタル」を学習院百周年記念会館にて開催。

1982年、LPアルバム「サテンドール」文化庁芸術祭参加。

TV朝日「題名のない音楽会」にもたびたび登場し、ジャズを芸術音楽として広く一般に周知させた功績は大きい。

現在も、永年培われたダイナミックかつ温かいサウンドで、全国のジャズコンサートやフェスティバル、会館自主事業、学校芸術鑑賞公演等で活躍中。レコード、CD多数。

Profile 司会者 まきいわ・まさお

東京アナウンスアカデミーアナウンス&DJ科卒業後、音楽番組DJデビュー。

ニッポン放送番組内「DJコンテスト」では準優勝獲得と並行して民放各局のPops番組を担当。



1980年よりNHK-FM「セッション」、NHK「FMライブ・スペシャル」などのスタジオ・ライブジャズ番組司会に起用されたのを機にジャズへ転身。その間現在までNY、特にパリへのジャズ研修には10数回参加し、日本同様にアメリカからの影響を受けたパリジャズに見識を深めると共に、パリジャズ・スポットフリークを自認。1988年には、H.ハンコック、W.ショーター、L.コリエル、B.ウィリアムスらの来日ツアーをはじめ「マリニアークロイ」【UENO

■最近のおもな活動

1995年6月、グレン・ミラーの生誕地・アイオワ州クラリダで開催された【グレン・ミラー・フェスティバル】に招聘され、その演奏は熱烈な歓迎を受けて絶賛を博した。

1999年10月8日、「ゆうぼうと」にて多彩なゲストを招き、「ブルーコーツ結成50周年記念コンサート」を開催。ブルーコーツ半世紀の軌跡を演奏で表現した。

同年、50周年記念アルバムCDを日本コロムビアから発売。

2004年1月、リーダー・森寿男が、ジャズ界の大賞と言われる南里文雄賞を受賞。

同年7月、東京藝術大学音楽堂主催「JAZZ IN 芸大」に出演。

同年10月、「ブルーコーツ55周年記念コンサート」を開催。

TV朝日「題名のない音楽会」特別企画「ブルーコーツ今昔物語」全国放映。

55周年を記念して70年の歴史をまとめた単行本【ジャズに情熱をかけた男たち/ブルーコーツ70年】(瀬川昌久著)が同年、長崎出版より発売。この物語は劇団ミュージカル座によってミュージカルとして上演され、2006年、東京芸術劇場ミュージカル月間優秀賞受賞。

2010年11月、結成65周年記念公演を日比谷公会堂で開催。同時に記念アルバム発売。

新たな歴史に向かって、ビッグバンドジャズの王道と言うべき演奏活動を続けている。

JAZZ INN]「浅草ジャズコンテスト」「横浜JAZZPromenade」「舞鶴赤煉瓦 JAZZ LIVE」「ヨコスカ ジャズドリームス」「BaySide JAZZ千葉」「Mt,IWAKI J・F」「品川なかのぶJ・F」などの国内主要ジャズフェスティバルや、「日比谷サマージャズ」「Big BandF・S」「ディキシー・ジャンボリー」などで内外一流Big Nameをサポートするほか、構成制作プロデュースも含め20年以上担当継続しているフェスティバル・コンサートもあり、その独自の巧みさから正統派MC進行スタイルを確立し現在に至る。

特に森寿男&ブルーコーツとは、1980年NHK-FM「セッション」担当以来のコンビで、創立60周年記念コンサートも担当。

他のビッグバンドにない、綺麗びやかなアンサンブルである「ブルーコーツ・サウンド」を最も敬愛する司会者の一人であると自認している。

